

天溪 2016 年「ミルフォードトラックとマウントクック 11 日間」(特別企画)

「ミルフォードトラックとマウントクック 11 日間」を 2 月 1 日～2 月 11 日に行いました。

2016 年 天溪ニュージーランド・ツアーは 2 月 26 日出発ですが、一足先に夏のニュージーランド(NZ)を楽しんで来ました。今年のミルフォードトラック・ガイド付ウォークは 2 月から 3 月上旬にかけて例年以上に混合い、天溪が予定していた入山も早い段階で定員・満席(50 名)になり、一部の皆様を分けて催行することになりました。天溪はミルフォードトラックとマウントクック・ハミテージホテル(2 連泊)をセットで企画しており、遅れてこの時期に両方手配するのは至難の業。ところが偶然春節(2 月 8 日)を挟んで手配でき、例外にもれず中国系の人達で溢れるNZも楽しんで来ました。



(マッキノンパス 3/8 日)

○ミルフォードトラック前半

事前にミルフォード周辺の天気を調べれば雨模様。年間降水量 7000mm以上と言われる多雨地帯では仕方なしと思いつつ一発逆転狙いで日本を出発。トレック初日、ロッジ・グレードハウスで全員集合の記念撮影、夜は国別に分かれ自己紹介(英語)。今回の入山グループは総勢 50 名、その内日本人は私達を含め 12 名。この日までの天気は概ね良好でしたが夜半から一転雨降りに。トレック 2 日目、雨中のクリントン溪谷を進みポンポローナ・ロッジへ、有難い事に乾燥設備が充実していて濡れたものもカラカラ速乾。トレック 3 日目、一晩中激しく叩いた雨音も何時しか止み、何故か雲海を思わす空模様。沈んだ気持ちに期待を込めると、マッキノン峠の登りにさしかかったころから雲が取れニコラス圏谷の優美な姿が現れました。



(ティアナウ湖 2/3 日)



○ミルフォードトラック後半

マッキノン峠はこのコースで唯一山岳風景が楽しみ晴れて欲しい所。雨後とあって植物が生き生きとし、標高を上げるに連れ流れる雲が幻想的に姿を変え景色を造ってくれました。ふとマッキノンレリーフを見上げると南限オーム、いたずら小僧のケーアが！ 峠を後にクインティンロッジへ向け一気に下り、更にサザーランド滝まで滝見物。トレック最終日、快晴のもと夏の強い日差しは生い茂るシダやブナ林に遮られ、快調に 21Km を走破し終着地の船着き場、サンドフライポイント到着。今年は渡し船が故障したとかで小型の舟で対岸へ渡りマイターピークロッジへ向いました。



(アーサー溪谷 2/6 日)





○マウント・クック

マウントクックは晴天率 30%などと現地ガイドは良く言いますが、私にとっては 80%以上の晴天率に思えます。今回も快晴のもと氷河湖を望むフッカーバレー、高度差の出るセアリーターンズ、村を一望するレッドターンズなどのハイキングを楽しみました。そんな中、世界最大のキンポウゲの花「マウントクックリリー」をこの時期にしては珍しく見つけました。



(フッカーバレー2/9日)



※今年もインカ庁によるインカ道の入山受付が1月11日から始まりました。2月20日現在既に4月中旬から8月中旬まで満席に、勿論天溪の5月入山日も満席です。ここはキャンセル待ちや追加募集を一切受け付けませんので天溪ツアーの募集も終了です。

※天溪ツアーの中で「ミルフォードトラック」と「インカ道」は入山者数に制限が有り、この地をご希望される皆様はお早めにお申込み下さい。タイミングを逸すれば折角ご希望されてもお引き受け出来ません、ご注意を！